

目標達成計画

作成日：平成25年2月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の浸透をさせるために全職員が統一定期的な振り返りの機会をもつ取り組みが必要である。	理念、地域密着への取り組みが全職員に浸透する。	地域の方々が気軽に来所し、談話したりできる雰囲気づくりのための計画を全職員と共に考える。(例)行事開催発信、売店、喫茶コーナー設置、カルチャー教室の開催、講演会開催	12ヶ月
2	2	計画的に拘束について学ぶ機会を持ちサービスの質の向上につなげる取り組みが必要である。	計画的な勉強会を事業所で行い、外部研修も受ける事ができる体制作りを行う。全職員が自らの些細な言動について振り返り、拘束に繋がっていないか考える事ができる。	年間計画で拘束についての勉強会を計画する。外部研修への参加も計画し、全職員に浸透するよう参加者からの伝達講義を受ける。	12ヶ月
3	7	虐待について事業所内の事例発生のみでなく事業所内で発生につながりそうな事例や外部での発生事例などを話し合い検討する機会を持ち職員の質の向上に取り組む必要がある。	計画的な勉強会を事業所で行い、外部研修も受ける事ができる体制作りを行う。全職員が自らの些細な言動について振り返り、虐待に繋がっていないか考える事ができる。	年間計画で虐待についての勉強会を計画する。外部研修への参加も計画し、全職員に浸透するよう参加者からの伝達講義を受ける。	12ヶ月
4	26	介護計画において些細な変化を見逃さないように毎月モニタリングの中で職員の気付き、意見を反映させる仕組み、また生活の様子、状況が分かるような記録となるような取り組みが必要である。	モニタリング様式を作成し、系統立てた介護計画を作成し、形式的な記録では無く入居者の生活、状況が見える記録ができる。	モニタリング様式を作成する。毎月入居者の状況報告で個別のあかとんぼ新聞を作成しているが、その過程でスタッフ間の意見交換を行っており、その事が介護記録的に残せるようにする。	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。